

# 日本史

1

解答

問1. ウ 問2. ウ 問3. イ 問4. ア 問5. エ  
問6. ア 問7. エ・カ・ク 問8. ウ 問9. イ

問10. ウ

## 解説

### 《古代の文化》

問1. ア. 誤文。「額田部臣」の文字は、鳥根県の岡田山1号墳出土の大刀に刻まれている。

イ. 誤文。「石上神宮蔵の七支刀の銘文」ではなく、高句麗広開土王（好太王）碑文である。

エ. 誤文。『上宮聖徳法王帝説』は平安時代中期に成立したので、「この時期（古墳時代）に書かれた」は誤り。

問2. ア. 誤文。「天皇」ではなく、「天子」を名のった。

イ. 誤文。「犬上御田歙」ではなく、小野妹子が正しい。また、孝徳天皇の政治改革を支えたのは「玄昉」ではなく、旻である。

エ. 誤文。太政大臣は適任者が不在の場合は置かれなかったので、「常置された」は誤り。

問3. ア. 誤文。「天皇記」・「国記」ではなく、「帝紀」・「旧辞」が正しい。

ウ. 誤文。「紀伝体」ではなく、編年体で叙述された。

エ. 誤文。『日本書紀』編纂の中心人物は舎人親王である。「刑部親王・藤原不比等」は大寶律令の編纂にあたった。

問5. ア～エの歌の出典はすべて『万葉集』。エが防人歌で正解。アは橘諸兄の歌、イは額田王の歌、ウは持統天皇の歌である。

問6. イ. 誤文。健甕の制は792年、桓武天皇のときに採用された。

ウ. 誤文。「伊治些麻呂の反乱」は780年、光仁天皇のときに起こった。

文室綿麻呂は嵯峨天皇の時代の811年に征夷将軍となり、蝦夷征討に従事した。

エ. 誤文。『令集解』は養老令の私撰注釈書で、惟宗直本が編纂。9世紀後半のことなので、嵯峨・淳和天皇の在位中（9世紀前半）にはあたらない。清原夏野らは淳和天皇の命を受けて養老令の官撰注釈書である『令義解』を編纂した。

**問9.** ア. 不適。戒律を伝えたのは鑑真である。

ウ. 不適。『顕戒論』を著したのは最澄である。

エ. 誤文。『性霊集』は真済らが編纂した空海の漢詩文集。空海が著した漢詩文作成についての評論は『文鏡秘府論』である。

**問10.** ア. 誤文。『往生要集』を著したのは源信である。

イ. 誤文。円珍の門流は寺門派と呼ばれ、園城寺（＝三井寺）を拠点とした。

エ. 誤文。延暦寺の僧兵は日吉神社の神輿をかついで強訴を行った。春日神社に関係するのは興福寺の僧兵。春日神社の神木を奉じて強訴した。

2

解答

問1. イ 問2. ウ 問3. ア 問4. エ 問5. ウ  
問6. エ 問7. イ 問8. ウ 問9. イ 問10. ア

解説

### 《中世の社会・経済》

**問1.** ア. 誤文。「東日本」は誤りで、西日本が正しい。

ウ. 誤文。「人が土を掘り起こすため」ではなく、牛馬に引かせるための犁が広まった。

エ. 誤文。下肥は、室町時代に刈敷や草木灰とともに肥料として広く用いられるようになった。

**問4.** ア. 誤文。「九州限定」は誤りで、畿内周辺が正しい。

イ. 誤文。「バサラ」とは南北朝～室町時代に流行した華美な風俗のことなので、悪党の概念ではない。

ウ. 誤文。「新田義貞」ではなく、楠木正成が結集させた。

**問5.** ア. 誤文。金銭の訴訟は不受理としたので、「積極的に受け付ける方針が示された」は誤り。

イ. 誤文。再審請求を「推奨」ではなく、禁止した。

エ. 誤文。非御家人や一般庶民は、買い取った御家人領を無償で元の持主に返還することになった。

**問6.** ア. 誤文。酒は河内・大和・摂津，絹織物は加賀・丹後などで生産された。

イ. 誤文。能登は釜の産地で，刀は備前などで生産された。

ウ. 誤文。杉原紙は播磨の特産品。美濃では美濃紙が生産された。

**問8.** ア. 誤文。水上交通とともに，陸上輸送・運輸も発達した。

イ. 誤文。寺社にも関所の設置が認められた。

エ. 誤文。「商業取引に制限をかけるため」ではなく，商業取引を円滑化するために廃止した。

**問9.** イ. 誤り。山口は大内氏の城下町である。

**問10.** イ. 誤文。博多は12人の豪商からなる年行司によって市政が運営された。36人の豪商が会合衆として市政を担当したのは堺である。

ウ. 誤文。桑名では四人衆，大湊では老分衆による自治が行われた。

エ. 誤文。「リスボン」ではなく，ベニスが正しい。

**3** **解答** **問1.** ア **問2.** オ **問3.** エ **問4.** ウ **問5.** イ  
**問6.** ウ **問7.** エ **問8.** エ **問9.** ウ **問10.** ア

---

### 解説

---

#### 《近世後期の外交政策》

**問1.** イ. 誤文。「番方」ではなく，役方の役職である。

ウ. 誤文。「徳川家光」ではなく，徳川吉宗が正しい。

エ. 誤文。「若年寄」ではなく，老中に直属した。

**問3.** ア. 誤文。己酉約条は，朝鮮と対馬の宗氏との間で結ばれた。

イ. 誤文。通信使は，朝鮮から派遣された。

ウ. 誤文。謝恩使は，琉球から派遣された。

**問4.** ア. 誤文。オランダ人は長崎の出島に隔離され，日本人との交流が禁じられた。

イ. 誤文。「1842年」ではなく，1641年が正しい。

エ. 誤文。日蘭和親条約は1856年に締結された。

**問7.** エが正解。ラクスマン来航（1792年）→レザノフ来航（1804年）  
→ビッドル来航（1846年）→プチャーチン来航（1853年）となる。

**問8.** ア. 誤文。無二念は「慎重に」ではなく、躊躇せずにという意味である。

イ. 誤文。清・琉球・朝鮮の船は打ち払いの対象外となった。

ウ. 誤文。「1806（文化3）年」ではなく、1825（文政8）年が正しい。

**問10.** イ・ウ. 誤文。史料中の「向後唐，阿蘭陀の外，外国のもの共，若漂流人を連れ渡し候儀之有り候とも，決して受け取り申間敷候」から，清・オランダ以外の外国からの日本人漂流民の受け取りを拒否するよう命じていることがわかる。

エ. 誤文。史料中の「去寅年相達し候通り，薪水食料等乞ひ候はば，其廉而已用弁致し遣し」から，天保の薪水給与令に従うよう命じていることがわかる。

4

解答

問1. ウ 問2. エ 問3. ア 問4. イ 問5. ウ  
問6. ア 問7. エ 問8. イ 問9. ウ 問10. エ

解説

### 《近代の政治・外交》

**問2.** ア. 誤文。「大使」ではなく，副使が正しい。

イ. 誤文。「鹿児島県」ではなく，石川県である。

ウ. 誤文。「工部卿」ではなく，内務卿として殖産興業を推進した。

**問3.** イ. 誤文。「すべての閣僚」ではなく，陸相・海相を除くすべての閣僚を憲政党出身者が占めた。

ウ. 誤文。イギリスの外務省は日本の第一次世界大戦への参戦に対して消極的だったので，「イギリス外務省の支持もあり」は誤り。

エ. 誤文。山県有朋は二十一か条の要求に対して「肯定的」ではなく，批判的であった。

**問4.** ア. 誤文。「大日本帝国憲法に規定された公式の地位」ではなく，大日本帝国憲法の規定にない非公式の地位である。

ウ. 誤文。元老は国家の重要政策に関与した。

エ. 誤文。元老には大山巖や桂太郎のような武官も含まれていたため，「文官のみ」は誤り。

**問6.** イ. 誤文。原敬が衆議院第一党の立憲政友会総裁になったのは1914年。また，原敬は寺内正毅内閣が設置した臨時外交調査委員会に加

わった。

ウ. 誤文。「ソ連」は誤りで、フランスが正しい。

エ. 誤文。「縮小した」は誤りで、朝鮮における憲兵警察を廃止した。

**問7.** ア. 誤文。浜口雄幸内閣は、枢密院の同意を得てロンドン海軍軍縮条約を批准した。

イ. 誤文。「1937年」ではなく、1936年が正しい。

ウ. 誤文。「加藤寛治」ではなく、財部彪である。

**問8.** ア. 誤文。「北一輝」ではなく、大川周明が正しい。

ウ. 誤文。「皇道派」と「統制派」が逆である。

エ. 誤文。革新官僚や財閥と結んだ軍部による強力な総力戦体制の樹立をめざしたのは、統制派である。

**問9.** ア. 誤文。「陸軍大将二名」は誤り。二・二六事件で殺害されたのは斎藤実内大臣（海軍大将）、高橋是清大蔵大臣（元立憲政友会総裁）、渡辺錠太郎陸軍教育総監（陸軍大将）。また、当時の首相岡田啓介は危うく難を逃れたので、「首相・元首相が襲撃され死亡した」も誤り。

イ. 誤文。渡辺錠太郎は「陸軍大臣」ではなく、陸軍教育総監が正しい。

エ. 誤文。永田鉄山が相沢三郎によって暗殺されたのは、1935年。二・二六事件は1936年に起こったので、「(二・二六)事件と同じ年」は誤り。

**問10.** ア. 誤文。「加わらなかった」は誤りで、臨時外交調査委員会には加わっている。

イ. 誤文。「軍拡」ではなく、軍縮の実現を求めた。

ウ. 誤文。円相場は「上昇」ではなく、下落した。